



編集後記

寺田寅彦記念館友の会 編集部

寺田寅彦の随筆「蓑虫」の掲載について

80号の発行の季節に合わせて掲載をしました。

ご存じのように、寺田寅彦の筆名には、いろいろありますが、その中に「木^{ほくろ}先生」「木^{ほくろ}閑人」「木^{ほくろ}山人」などは「蓑虫」から創り出されたものではないかとも考えられます。

皆様方も子どもの時に寺田寅彦と同じように「みのむし」の「いえづくり」に取り組まれたことがあるのではないのでしょうか。一度再読してみたいはいかがでしょう。

四宮義正様の「寺田寅彦～定説・思い込み・気になること～(3)」の掲載について

四宮様から引き続きご投稿いただきました。改めて、寺田寅彦の作品や研究文献を読み直してみたい内容が記載されています。

野村学様の「寅彦の見た風景」の掲載について

野村様からご投稿をいただきました。

皆さんも寺田寅彦が通った東京大学や地震研究所、そして、銀座などへ行かれたことがあると思います。その時に、何かしら湧き上がって来るものがあるのではないのでしょうか。そんな中、ともすれば、高知に居ながら、寺田寅彦が訪れた所等を忘れてしまっていることもあるのではないのでしょうか。高知に居られる方も、高知へ来られた方もこの野村様の投稿を読まれて、寺田寅彦と同じ場所に立っているという実感を味わっていただけたらと思います。

寅彦の情報あれこれについて

寅彦の作品が海外で翻訳されていることや新たな寅彦の手紙の発見、書籍、新聞コラム、そして、寺田寅彦記念館での映画撮影の情報も掲載しております。

今後もいろいろな情報をお寄せいただきたいと思います。

平成29年度 寺田寅彦記念館友の会 秋季研究会のご案内

平成29年度の秋季研究会を下記の日程で開催いたします。ご参加をお願いいたします。

日時 平成29年10月22日(日) 午後1時から3時まで

場所 寺田寅彦記念館

演題 なぜ寺田寅彦を上演したのか

講師 劇団 the・創 代表 西森良子 様

西森良子様は、高知の先人を取り上げた演劇活動をされています。昨年、「寺田寅彦物語」を上演され、高い評価を得ておられます。今年は「上林暁」を10月に公演される予定で取り組みを進められておられます。

「寺田寅彦物語」を上演されるために奔走された経験を踏まえての、劇を創られる方から見た寺田寅彦についてのお話です。とても興味深いお話が伺えるものと考えております。ご参加をお待ちしております。

備考 研究会後、寺田寅彦の墓参に行きます。

訂正

「榭」79号掲載の大森一彦様の「寺田寅彦の翻訳書」に誤りがあった旨著者より申し出がありましたので、訂正をお願いいたします。

6ページ、下から4行目 (正) 新版『全集』←(誤) 旧版『全集』